

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」への
パブリックコメントの実施結果

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見募集期間

令和8年1月7日（水）～2月6日（金）

(2) 閲覧場所

教育委員会学校教育課（役場3階）、役場2階情報コーナー、
サハトベに花、西里農村環境改善センター、溝延研修センター、
北谷地構造改善センター、どんがホール及び河北町ホームページ

(3) 意見の提出方法

① 直接提出 ② 郵送 ③ ファックス ④ 電子メール

2 パブリックコメントの実施結果

(1) 意見等の提出者数

10名（うち3名無記名）

(2) 意見等の件数

50件

(3) 提出方法の内訳

① 郵送 2名 ② 電子メール 3名 ③ ファックス 1名 ④ 直接持参 4名

(4) 提出された意見等の概要及び当該意見に対する町教育委員会の考え方
別紙のとおり

(5) 基本構想・基本計画（案）に修正するもの

・本文中の表現を下記の通り修正する

P75 5) 整備方法検討タイプ A-1案

P76 6) 整備方法

P77 7) 整備方法の検討 A-1タイプ

上記の本文中の「増築」を「建設」に修正

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
1	<p>2023年12月、あり方検討委員会は小学校のみについて諮問されたのに、小学校の1校統合と、小中一貫校を答申されました。</p> <p>その後、2025年10月町と教育委員会は試算から、一体型小中一貫校は建設費が多額過ぎるとして統合小のみ新築へと、突然変更されました。老朽化している河北中の建設は、統合小完成後10年後と聞いています。果たして大丈夫なのでしょうか。既存の小学校そのまま使用して、あるいは一部統合して使い続ける事は出来ませんかでしょうか。そして中学校は、早急に長寿命化の大改修事業、交付金などを利用して推し進める事などは出来ませんかでしょうか。これからの町財政健全化の為、孫子に借金を負わせない様をお願いいたします。</p>	<p>河北町立小学校のあり方検討委員会からの答申を受け、小学校の統合について検討し、教育委員会の方針として小中一貫教育（施設一体型）を推進することとし、河北町立小中学校整備委員会において、基本構想・基本計画（案）について議論してまいりました（基本構想・基本計画（案）P8～10）。</p> <p>教育委員会の方針としての小中一貫教育（施設一体型）につきましては、変化の激しい社会で資質・能力を身に付け、多様性に対応した教育を実現するため、9年間一人一人の子供の発達段階に応じ系統的な指導ができる小中一貫教育を推進することが必要と考えます。施設一体型では、①中学校の教育を見据えた小学校教育、小学校を踏まえた中学校教育といった学びの接続、②小学校教育では特に高学年において教科担任制が進められており、教科ごと教材研究や話し合いがますます重視され、教員間の意思疎通がより重要となるなどの教員間の接続、③小学生と中学生が校舎内で交流を深め、児童生徒間の対面での教育、小学生が中学生の後姿を見ながら成長していくなどの児童生徒の接続が実現されます。</p> <p>基本構想・基本計画（案）では、令和13年4月開校を目指し、まずは小学校を整備し、中学校については当面修繕等の改修を行いながら使用し、統合小学校整備後の10年後の令和23年度開校を目安として中学校整備を想定します。</p> <p>中学校については、長寿命化改良事業の活用も検討されますが、事業実施後30年以上使用する前提となることから、今後の生徒数の減少を考慮すると、現在の施設規模のものが必要かどうか検討が必要と考えます。また、中学校の新築については、現状は国庫補助の対象外であり、単独事業となり全て町の財政負担となります。そのため、国庫補助の対象となる小学校統合による建設を先にすることが、町の財政負担軽減にもつながります。</p> <p>なお、中学校の改修については、当面必要となる改修に向けた調査を来年度実施し、事業費に対しては国庫補助を最大限活用し、より交付税措置率の高い起債を活用することで、町の実質的な財政負担の縮小に努めます。</p>
2	<p>今回のパブリックコメントについて、募集期間が1月7日（水）～2月6日（金）となっています。広報「かほく」が届いたのは14日です。実際の公募期間は1月もない事になりますが、おかしくはありませんか。なるべく短くして町民の関心をなくして事を穏便に進めようとする考えでしょうか。</p>	<p>今回のパブリックコメントについては、町報では1月15日号に掲載となりましたが、1月7日から町のホームページで公表し、2月6日までの約1か月間、各施設等で募集を行っております。</p>

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
3	<p>学校整備は、ほかの事業を圧迫しないよう、町財政の長期的見通しを見据えながら進めること。</p> <p>財政を見据えた学校整備の検討が当然</p> <p>「小学校のあり方検討委員会」と「学校整備委員会」、さらに河北町教育委員会において、町の財政状況を気にせずに検討が進められたが、小中学校を同時に一体的に整備した場合の事業費合計111.4億円と、小学校を整備し既存中学校と接続した場合の事業費合計54.5億円が示されると、更なる追加事業費や物価高騰による事業費膨張が判明する前ではあるが、事態が一変した。</p> <p>つまり、傷んでいて、緊急性が認識されている河北中の、小中一貫校としての新築、大改修が16年も先送りにされることになった。</p> <p>近隣自治体の学校整備計画と事業費のニュースに関心を持っていれば、早い段階で財政状況が、河北町の学校整備計画に反映させられたのではないか。</p>	<p>意見への教育委員会の考え方</p> <p>本町では、子供達にとってよりよい教育環境の構築を第一に考え、議論を始めました。河北町立小学校のあり方検討委員会からの答申を尊重し、教育委員会の基本方針として、小中一貫教育を推進し、施設一体型の小中一貫型小学校・中学校を整備するという考えにまとまりました。</p> <p>その基本方針を最大限尊重しながら、財政状況を踏まえた校舎整備の進め方について検討した結果、小学校と中学校を同時に一体的に整備することが難しいと判断し、施設一体型の小中一貫型小学校・中学校を段階的に整備することとし、まずは小学校を整備し、中学校と接続することとなりました。</p> <p>近隣自治体の学校整備等の状況については、随時情報収集は進めております。</p>
4	<p>傷んでいる河北中は、財政的支援が期待できる長寿命化で、できるだけ早く大改修すること。</p> <p>河北中の教育環境整備が緊急課題</p> <p>河北中は、町の学校施設長寿命化計画(令和3年3月策定)に示されるように大改修が必要だ。しかし、改築や小中一貫校での新築には、国の財政支援を受ける条件が整わないことが判明しており、長寿命化による大改修で、教育環境を緊急に整備することを検討すべきである。</p>	<p>中学校については、生徒の安全性を確保するためにも、修繕・改修等を行いながら使用し、令和23年度開校を目安に整備をしたいと考えています。</p> <p>中学校については、長寿命化改良事業の活用も検討されますが、事業実施後30年以上使用する前提となることから、今後の生徒数の減少を考慮すると、現在の施設規模のものが必要かどうか検討が必要と考えます。また、中学校の新築については、現状は国庫補助の対象外であり、単独事業となり全て町の財政負担となります。そのため、国庫補助の対象となる小学校統合による建設を先にすることが、町の財政負担軽減にもつながります。なお、中学校の改修については、当面必要となる改修に向けた調査を来年度実施し、事業費に対しては国庫補助を最大限活用し、より交付税措置率の高い起債を活用することで、町の実質的な財政負担の縮小に努めます。</p>

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
5	<p>小学校の教育は、まだまだ使える現在ある校舎を活用して進めること。</p> <p>まだまだ使える現在ある小学校の活用を</p> <p>谷地中部小は築25年、谷地南部小は築28年、北谷地小は築30年、溝延小は築33年、谷地西部小は築37年、西里小が築40年となっている。</p> <p>河北中は築48年で一番古く、建物の傷みや不具合などが多数指摘され、早急な教育環境の整備が求められ、課題となっている。</p> <p>まだまだ使える小学校を活用し、大統合しない教育環境が、財政的にも、教育的にも、地域おこしの観点でも、進めるべき方向ではないか。</p>	<p>本町では、子供達にとってよりよい教育環境の構築を第一に考え、議論を始めました。河北町立小学校のあり方検討委員会からの答申を尊重し、教育委員会の基本方針として小中一貫教育を推進し、施設一体型の小中一貫型小学校・中学校を整備するという考えにまとまりました。</p> <p>その基本方針を最大限尊重しながら財政状況を踏まえた校舎整備の進め方について検討した結果、小学校と中学校を同時に一体的に整備することが難しいと判断したため、施設一体型の小中一貫型小学校・中学校を段階的に整備することとし、まずは小学校を整備し、中学校と接続することとなりました。谷地中部小学校等既存の小学校を統合小学校とした場合、敷地面積として、併設しての中学校整備が難しく、施設一体型の小中一貫型小学校・中学校の整備が困難と判断しました。なお、中学校の改修については、当面必要となる改修に向けた調査を来年度実施し、事業費に対しては国庫補助金を最大限活用し、より交付税措置率の高い起債を活用することで、町の実質的な財政負担の縮小に努めます。</p>

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
6	<p>小中一貫校は、町内ですでに取り組み実態がある施設分離型などを検討すること。小規模校や複式学級がダメとする考えは間違い</p> <p>例えば不登校の問題でも、全国的に、最近10年で3倍化している不登校は、子どものせいや親の甘やかしのせいではなく、その多くが「心が折れた傷ついた状態」「命の問題」であるとの認識が広がっていて、そのためには少人数学級が必要で、統合して大規模校にすることは、逆方向との意見がある。</p>	<p>教育委員会の方針としての小中一貫教育（施設一体型）につきましては、変化の激しい社会で資質・能力を身に付け、多様性に対応した教育を実現するため、9年間一人一人の子供の発達段階に応じ系統的な指導ができる小中一貫教育を推進することが必要と考えます。施設一体型では、①中学校の教育を見据えた小学校教育、小学校を踏まえた中学校教育といった学びの接続、②小学校教育では特に高学年において教科担任制が進められており、教科ごと教材研究や話し合いがますます重視され、教員間の意思疎通がより重要となるなどの教員間の接続、③小学生と中学生が校舎内で交流を深め、児童生徒間の対面での教育、小学生が中学生の後姿を見ながら成長していくなどの児童生徒の接続が実現されます。</p> <p>小規模校や複式学級には、一人ひとりに目が行き届きやすいなどのメリットはありますが、一定の人数が必要な活動が困難であったり、教員が少なくなることによる多忙化などのデメリットもあります。</p> <p>学校統合で一定の規模を確保することによって、クラス替えが可能になり人間関係が固定されないというメリットがあると考えます。また他者とのつながりが広がる、コミュニケーション能力が高まる、集団での振る舞いが身につく社会性が育つ、他の児童生徒や多数の教員の考えに触れ多様性が身につくという点に教育的価値があるものと考えます。</p> <p>不登校の問題については、現在も教育委員会では最重要課題の一つとして取り組みを進めており、今後も引き続き同様の考え方で取り組んでまいります。</p>
7	<p>少子化克服に逆行する計画づくり</p> <p>子どもの人口減少を理由に、少ない子どもに合わせて小学校を大統合することは、少子化の克服への取り組みを、大いに弱めることになっている。</p>	<p>子どもの人口減少に伴い、学校統合で一定の規模を確保することは、上記のとおりメリットがあると考えます。</p> <p>今後、町内小学校6校のうち、4校が複式学級となっていき、完全複式学級の学校もでてきます。少人数学級といっても、学年で5人以下の学級もあり、自分の子供の学年が少ないことに保護者の方が心配することが懸念されます。学校統合をしないことによって、人口減少につながる可能性があると考えます。</p>

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
8	<p>小学校統合は地域おこしに逆行し、地域の伝統文化などの伝え手を無くす恐れもあるので、慎重に進めること。</p> <p>小学校統合は地域の伝統文化などの伝え手を無くす</p> <p>河北中は48年前に、谷地、溝延、西里、北谷地の4つの中学校を統合してできた。</p> <p>6つのそれぞれ小学校の取り組みと比較して明らかなように、河北中はどの地域の伝統文化も伝承することがなかった。</p> <p>小学校統合は、河北中の文化継承活動が少ない状況を、繰り返す心配がある。</p>	<p>基本コンセプトに基づき、小学校統合後も、ふるさと学習を通して、地域と学校のつながりを深めるよう進めています。また、令和3年度より学校と地域住民が協働して学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」を導入し、地域と一体となって特色ある学校づくりを行っており、小学校の統合が行われても、より大きな枠組みで取り組みを継続できるものと考えており、地域の伝統文化も学ぶことができると考えます。</p> <p>地域の伝統文化については、統合した小学校において伝えていくべきもの、継承すべきものがあり、学校の教育課程のなかでどのように取り組むべきか今後の検討課題としてとらえております。これからの小学校統合の準備段階で、旧小学校区について学ぶ学習を展開し、郷土愛の醸成につなげるなど、統合したからこそ実現できる教育課程の検討も今後進めて参ります。</p>
9	<p>パブコメの機会がせばめられ問題</p> <p>このパブリックコメント（パブコメ）は、提出期間が1月7日から2月6日までとなっているが、町広報で周知されたのは、なんと、すでにパブコメ期間中の1月15日付広報だった。</p> <p>通常は、半月ほど前からパブコメを周知して、その後実施されている。</p> <p>今回はパブコメとして、不成立ではないのだろうか。</p>	<p>今回のパブリックコメントについては、町報では1月15日号に掲載となりましたが、1月7日から町のホームページで公表し、2月6日までの約1か月間、各施設等で募集を行っております。</p>
10	<p>地域の未来を育む『学び舎』を、失政の『負の遺構』とすべきではない</p> <p>少人数教育の良さは、論ずるまでもない。</p> <p>小学生は、まだゆりかごの中である。</p> <p>地域の校舎へ通学し遊ぶのは、健全な身心をつくる。</p> <p>校舎は、地域を次世代へと渡す橋でありバトンである。</p> <p>校舎の存在は、地域民の心とDNAの中にあり、失う損失は計り知れない。</p> <p>統合校舎建設に投資する財源を、地域コミュニティ建て直しに使うべし。</p> <p>まだ使える校舎を使わないのは、町の先達への不敬であり、後輩への無用な負担となる。</p> <p>統合校舎建設に投資する財源を、傷んでいる河北中の本格改修に使うべし。</p> <p>古くても良く整備されている建物と、古くて整備が間に合わない河北中は違う。</p>	<p>河北町立小学校のあり方検討委員会からの答申を受け、小学校の統合について検討し、教育委員会の方針として小中一貫教育（施設一体型）を推進することとし、河北町立小中学校整備委員会において、基本構想・基本計画（案）について議論してまいりました（基本構想・基本計画（案）P8～10）。基本構想・基本計画（案）では、令和13年4月開校を目指し、まずは小学校を整備し、中学校については当面修繕等の改修を行いながら使用し、統合小学校整備後に令和23年度開校を目安として中学校整備を想定します。</p> <p>中学校については、長寿命化改良事業の活用も検討されますが、事業実施後30年以上使用する前提となることから、今後の生徒数の減少を考慮すると、現在の施設規模のものがどうか検討が必要と考えます。</p> <p>なお、中学校の改修については、当面必要となる改修に向けた調査を来年度実施し、事業費に対しては国庫補助金を最大限活用し、より交付税措置率の高い起債を活用することで、町の実質的な財政負担の縮小に努めます。</p> <p>小学校の統合が与える地域コミュニティへの影響が大きいことも認識しておりますが、小学校統合後の旧小学校の利活用等も踏まえて、今後検討をすすめます。</p>
11	<p>児童生徒数見込みの表を見てまず目についたのが、「町中心部の一極化」です。河北中学校に近い中部小学校、南部小学校に子どもの数が集中しています。小中一貫校はこの一極化にますます拍車をかけ、中心部以外の地域に不利益を与えることにならないでしょうか。</p>	<p>小学校の統合が与える地域コミュニティへの影響が大きいことも認識しておりますが、小学校統合後の旧小学校の利活用等も踏まえて、今後検討をすすめます。</p>

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
12	「災害に強い学校」とありますが、家から遠い学校では災害時に頼りにすることができません。家から近い学校が、災害に強いのではと思います。	新しい学校整備にあたっては、防災機能の強化等を図り、避難所や地域の防災拠点として活用できる施設を整備していきます。 各地域においては、地域防災計画等に基づき対応していきます。
13	廃校にしたら校舎はどうするのでしょうか。他の用途に転用するにしても維持費がかかり、解体するにも費用がかかります。小学校統合の建設の時点ですでに財政的に厳しくなるという話を聞きます。	統合後の旧小学校の利活用については、公共施設の集約化や複合化などを視野に、ニーズを踏まえた機能の見直しを含め、地域の意見を集約しながらその活用について検討を進めます。
14	子どもの数が、少なくなった。これは逆に少人数学級の良さを活かし、質の高い教育を行えるチャンスに変えていければ良いと思います。 小学校統合、小中学校統合には反対です。	小規模校や複式学級にもメリットはありますが、学校統合で一定の規模を確保することにより、クラス替えが可能になり人間関係が固定されないというメリットがあると考えます。また他者とのつながりが広がる、コミュニケーション能力が高まる、集団での振る舞いが身につく社会性が育つ、他の児童生徒や多数の教員の考えに触れ多様性が身につく、という点に教育的価値があるものと考えます。
15	もっと話し合いの場を 第一に令和6年に開いたような地区説明会や町民説明会などは討論の時間が短く、納得、理解が不十分だったので、今後さらにみんなが気軽に意見交換し、納得、理解が進む場と時間の集会を作ってほしいと思います。民主的町政がモットーですから、時間やお金をかけ、悔いのない学校づくりをめざして戴きたいです。	これまで、住民へ説明するために、R7.9月～10月に計5回の説明会を開催いたしました。 また、基本構想・基本計画（案）については町報に概要版を掲載し、小中学校及び未就学児の保護者の方へ概要版の配布、インターネットで視聴できる説明動画の作成等で周知を図ってきました。 説明会を開催しても、参加者が集まりにくい実態があるので、今後、住民のみなさんが参加しやすい時間、会場等の設定を検討します。
16	現在の教育問題は不登校、いじめ、自殺などで新聞、テレビなどで報道されていますが、基本計画の中ではほとんど触れていません。むずかしいのはわかりますが、勇気をもって計画づくりの中に位置づけてほしかったです。現在の河北中がかつて統合した時は校内暴力などで何年間も先生、父母が苦しんだということが説明会でありました。それらの課題について基本計画の中でふれる必要は全くないのだろうか心配しています。	不登校・いじめ・自殺の問題については、現在も教育委員会では最重要課題の一つとして取り組みを進めており、今後も引き続き同様の考え方で取り組んでまいります。基本構想・基本計画（案）には記載していませんが、「河北町立小学校の整備に向けた基本方針」内で、いじめ・不登校のない学校づくりを行うことを新設学校の経営方針に盛り込んで実践する旨を記載しております。
17	各地域の小学校は地域のきずなでそれがなくなると地域のつながりや伝統文化（岩木みかぐら）などが消えていく恐れがあるという意見がかなりありますが、その点についてもっと議論する必要はありませんか。	基本コンセプトに基づき、小学校統合後も、ふるさと学習を通して、地域と学校のつながりを深めるよう進めていきます。また、令和3年度より学校と地域住民が協働して学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」を導入し、地域と一体となって特色ある学校づくりを行っており、小学校の統合が行われても、より大きな枠組みで取り組みを継続できるものと考えております。 地域の伝統文化については、統合した小学校において伝えていくべきもの、継承すべきものがあり、学校の教育課程のなかでどのように取り組むべきか今後の検討課題としてとらえております。これからの小学校統合の準備段階で、旧小学校区について学ぶ学習を展開し、郷土愛の醸成につなげるなど、統合したからこそ実現できる教育課程の検討も今後進めて参ります。

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
18	今までの統合の諸経験をふり返し、プラス、マイナスを総括し、それを計画の中にとり入れていく必要はあるかと思いますがどうですか。	以前の学校統合に際して、様々なことがあったと思われますが、当時とは時代背景や環境も違うため、計画へはこれからの子供達の教育環境について記載すべきと考えます。
19	全体の文章ですが、コンセプトやパブリックコメントなど外来語を使っていますが、日本語を愛して、わかる国語で書いてもらいたいです。また、文体もいわゆる官署用語で堅苦しく、冷たい感じで読みにくいので、中学生にもよくわかるやさしい文体にしてほしいと思いますが、どうでしょうか。	基本構想・基本計画策定後には、わかりやすい表現にした周知方法を検討します。
20	財政的な面で統合小の建設だけで30億の町基金がゼロになると町議会で論議されたが、学校整備特別委員会で十分論議し、町民の考えを聞くようにしてほしいです。また小中一貫校を小中間の交流や教育効果の点で必要かどうか十分論議してほしいと思います。	町では今後5年間の財政計画を策定しており、その中では、基金を取り崩しながらの計画となっております。財政計画では歳入歳出が同額の計画としておりますが、直近3年の財政状況では、決算の結果3億円前後の歳入から歳出を引いた剰余金があり、そのうち2億3千万円を基金に積み戻しております。このようなことから、町では3か年分の財政計画を毎年策定し、財政の健全化を図っています。長期の財政計画では、決算における剰余金を見込むことができないので、基金からの繰り入れのみで計画を策定していくこととなり、その結果、基金が減っていくという計画となります。学校整備だけに基金を繰り入れするものでなく、その他の事業を総合的に判断した結果の財政計画となっております。学校整備特別委員会では、小中一貫教育についてご理解をいただき、基本構想・基本計画について議論され、案として策定に至ったものです。
21	第一に、老朽化している中学校の建て替えを最優先すべきだと思います。そして、小学校に関しては既存の校舎がまだまだ使える状態なので、新設する必要を感じません。財政面で余裕があるなら良いのですが、多額の借金をかかえて建てるのは間違っています。(どの校舎も老朽化で使えないのであれば別ですが)	学校整備については、急激な少子化や、子供を取り巻く教育環境の変化を踏まえて、河北町立小学校のあり方について議論が始まりました。その議論の中で、老朽化する中学校についても検討が必要となり、これまで議論が進められました。このような経緯から、まず優先すべきは小学校の統合と考えております。
22	根本的な部分ですか、「小中一貫校にする」「小学校を1校にする」という考えを改めるべきかと思います。老朽化している中学校は建て替え、小学校は2校にし既存の校舎を使えば、全体の費用は抑えられプールもそのまま使うことができます。小学校を1校にした場合に既存の校舎では増築が必要と説明がありましたが、2校であればその点も問題ありません。	河北町立小学校の整備に向けた基本方針において、小中一貫教育を推進すること。また、町内の小学校をひとつに統合し、新たな校舎を整備することとしています。これまでの議論で、2校などの複数校へ統合した場合は、統合後すぐにクラス替えができない状況になること。児童が2度の統合を経験する可能性があることなどから、子どもたちにとって最適な学びの環境を構築するためには、1校に統合することが最適であると考えます。
23	新築校舎においてプールを作らず町民プールを使うとのことでしたが、不便すぎて現実的ではありません。本当に児童のことを考えていますか？疑問しか湧いてきません。お金をかけて、わざわざ魅力のない学校をつくるようなものだと思います。	学校のプールについては、使用頻度に対し維持管理の負担が大きい課題があるため、町民プールの活用を想定しております。

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
24	<p>「こんな素敵な学校があるなら河北町で子育てしたい！」と思ってもらえれば、今後の人口増に繋がるかもしれませんが、「小学校にプールはない。中学校はボロボロ」こんな町には誰も来てくれないどころか、離れていくばかりではないでしょうか？もし仮に小学校を新しく建てるのであれば、「こんな学校に通わせたい！」と移住者が増えるくらい魅力的な校舎を建てるべきです。（校舎のみならず中身も伴わなければなりません）</p> <p>それで結果的に人口増につながるのであれば、借金に関して町民も納得すると思いますが、残念ながら現案からは全く魅力がうかがえません。</p> <p>全国では「教育移住」という言葉が話題になるほど、小学校の魅力が人口増につながっている地域がニュース等で取り上げられています。</p> <p>河北町もそのような地域を見習い、少しでも人口増につながるよう頑張ってください。</p>	<p>令和4年5月の「河北町立小学校のあり方検討委員会」設置から、全7回開催し、諮問に対して答申を行いました。その答申を最大限に尊重し、令和6年1月に「河北町立小学校の整備に向けた基本方針（素案）」を策定し、それについて町民や認定こども園や幼稚園等での説明会で意見をいただき、令和6年10月に「河北町立小学校の整備に向けた基本方針」が策定されました。</p> <p>主な内容</p> <p>1 設置形態について 小中一貫型小学校・中学校とする 経営方針は、小中一貫教育を柱とする 9年間を見通した教育課程を編成し、系統的な教育を実施する</p> <p>2 学校の新設・改築について 町内の小学校をひとつに統合し、新たな校舎を整備 老朽化がすすむ河北中学校の校舎整備も併せて行う 施設形態は施設一体型とする 最短で令和13年(2031年)4月1日開校を目指す</p> <p>これらを受けて、河北町立小中学校整備委員会での検討が重ねられ、河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）が策定され、パブリックコメントの募集へ至っており、河北町の特徴ある最善のものと考えています。</p> <p>社会の変化や地域の実態を踏まえて、これからの河北町を担う子供達を育む魅力ある学校づくりを検討し、結果として人口増にもつながるような、魅力的な学校になるよう努めます。</p>
25	<p>以前、説明会に参加した際に「小学校に関して、吸収合併されるとというのが嫌という意見があり、既存の学校に統合するのではなく、新しい学校を1つ作ることにした」という説明がありました。確かに谷地外の子供達が「谷地中部小学校」や「谷地南部小学校」に通う場合を想定すると「谷地じゃないのに…」と思う事もあるのかな？と想像できます。</p> <p>ですが、既存の学校に吸収合併するというイメージではなく、あくまで既存の校舎を使って2校の新しい小学校にすれば良いのではないのでしょうか。</p> <p>例えば、学校名も【谷地】は入れずに「河北第一小学校・河北第二小学校」にするなど。</p>	<p>これまでの議論の中で、河北町立小学校のあり方検討委員会において、「1校に統合」、「段階的に統合」、「統合しない」の3つの立場でメリット・デメリットを整理しました。「段階的な統合」の場合は、複式学級が解消できる学校規模が確保できること、既存校舎の利活用ができることがあげられました。一方、児童が2度の統合を経験する可能性があること、児童数の推移を見たとき、統合してもすぐに学年単学級の学年が出現するため、クラス替えができなくなるなどがあげられました。最終段階においては、小学校は1校に統合することが最適であるという考えにいたりしました。</p>

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
26	<p>前書きについて 当初の「河北町立小学校の～」が、「河北町立小中学校～」と「中」が加わったのか。その理由と経緯がわかりません。</p>	<p>河北町立小学校のあり方についての答申において、小学校は1校に統合することが最適であるということ、中学校との一貫した教育活動が展開できるようにすることなどが示されました。教育委員会はこれまでの検討の経過や検討委員会による答申を尊重しながら、設置形態を小中一貫校（施設一体型）という案にまとめ河北町立小学校の整備に向けた基本方針を策定しました。 基本方針を踏まえ、河北町立小中学校整備委員会において、河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）がまとめられたものです。</p>
27	<p>河北町立小中学校整備について そもそも小中一貫教育の学校建設することは、町民のコンセンサスを満たしていないのではないか。既存6小学校を1校に統合することも、まだ町民多数の意向になっていないのではないか。初期のアンケートでは、小学校6校の1校化支持はごく少数でした。</p>	<p>設置形態の小中一貫校（施設一体型）という案については、河北町立小学校の整備に向けた基本方針（素案）の段階で示し、各地区での説明会や、幼稚園・認定こども園での説明会及びウェブでのアンケートを行い、皆様からのご意見をいただいたうえで、策定し決定しております。</p>
28	<p>学級編成の定数を小学校35人、中学校40人を将来も不変のことを前提としているが、目指す目標は20人学級の実現である。（先進諸外国並み）</p>	<p>学級数を検討する際の、小学校35人、中学校40人という学級の定数は現行の国の法律を基にしたものになります。また、これらは国の補助金を計算する際、必要な学級数を求める基準にもなっております。仮に20人学級とすると、必要となる学級数が国の基準で計算したものよりも多くなるため、その分の整備については補助金の対象外となり、町の財政負担が大きくなることが想定されます。</p>
29	<p>基本構想多岐に亘るが、吟味すべき事項もあります。</p>	<p>意見として参考にさせていただきます。</p>
30	<p>河北中の老朽化対策こそが急務であると思う。</p>	<p>中学校については、生徒の安全性を確保するためにも、修繕・改修等を行いながら使用し、令和23年度開校を目安に整備をしたいと考えています。中学校の改修については、当面必要となる改修に向けた調査を来年度実施し、計画的に改修をしていきます。</p>
31	<p>5.)整備方法検討タイプのA-1についての質問です。 補助金制度の関係で、新築するのに増築という言葉になるのでしょうか。又、既存の中学校を渡り廊下などでつなげる必要がでてくるのでしょうか。</p>	<p>既存の中学校に接続する形で整備するので、増築としております。 既存の中学校と渡り廊下等で接続することで、施設一体型の小中一貫型小学校・中学校とし、児童生徒や先生同士の活発な交流が期待できます。また、給食配膳の際にも渡り廊下等を活用予定です。 増築の表現については、わかりやすいように表現を修正させていただきます。</p>
32	<p>R7.10月1日の説明会に出席していますが、サハトベに花北側と谷地高西側の候補地の説明、資料はなかったと思いますが、なぜ資料を出さなかったのでしょうか。</p>	<p>10月の説明会の際は、学校整備の候補地として、河北中学校校地に整備すると方針が決まっていたため、サハトベに花北側と谷地高西側の候補地の検討資料等については添付していません。</p>

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
33	7.)整備方法の検討についても、パブコメで始めて見る資料で、説明会ではなかったと思いますが、10月1日以降の会議で出たことなのでしょうか。	7.)整備方法の検討については、説明会以前の会議で使用した資料になりますが、配置計画などが今後の設計で決定するものであり、また、誤解を招く恐れがあったため、資料配布をしていません。
34	整備方針では、小中一貫型小・中学校、②統合小学校1校新設、併せて老朽化の進む中学校の整備を行い、施設一体型とすると理解していましたが、R7.10の住民説明会で「統合小学校開校はR13を目指し、中学校はR23開校を目安」と財政難を理由に変更されました。これは、大きな前提条件変更で、これまで積み上げてきた説明会・アンケート等の取り組みを無効にする点が多いと考えます。住民への十分な説明が必要です。	これまで、住民へ説明するために、R7.9月～10月に計5回の説明会を開催いたしました。また、基本構想・基本計画（案）については町報に概要版を掲載し、小中学校及び未就学児の保護者の方へ概要版の配布、インターネットで視聴できる説明動画の作成等で周知を図ってきました。
35	生徒の安全性確保・教育環境の改善のため、中学校の修繕を最初に早急に取り組むべきと考えます。R4に多額の費用で実施した耐力度調査の結果などから、補助金の活用が難しいと理解するが、生徒の安全性等を確保するため、単独事業でも早急に危険校舎を修繕整備すべきです。（安全性を確保してから、耐力度調査の結果で補助金対象になってから改築しても遅くありません。）	中学校については、生徒の安全性を確保するためにも、修繕・改修等を行いながら使用し、令和23年度開校を目安に整備をしたいと考えています。中学校の改修については、当面必要となる改修に向けた調査を来年度実施し、計画的に改修をしていきます。
36	人口減少等で収入の減少が見込まれ、財政的負担が過大なら、新築に拘泥することなく、既存施設の活用を図り、先生の努力やみんなのアイデアでこれまで議論した教育環境の向上等を目指すべきだと思います。建築後20数年の谷地中部小学校を統合小学校として、オープンスペースの活用や、不足施設はプール除却跡地に増築する等、補助事業を活用して費用を抑えながら整備すべきだと思います。この場合、校舎意匠を変更する外、新学校名、新校舎、校章等を作り、「吸収統合は嫌だ」の声に配慮すれば、住民に理解いただけると思います。また、周辺の公共施設の活用で素晴らしい教育環境となると思います。	本町では、小中一貫教育を推進していきたいと考えます。谷地中部小学校等既存の小学校を統合小学校とした場合、敷地面積として、併設しての中学校整備ができず、目指している施設一体型の小中一貫型小学校・中学校の整備が困難であると考えます。
37	今後の学校整備の考え方 ①早急に単独事業で中学校生徒の安全性確保のため改修を行う。その後建物耐力度が1/2の補助事業対象となったら、改築に取り組む。 ②小学校は1/2の補助事業で統合1校（谷地中部小活用）とし、R13開校に向けて整備し、将来改築1/2の補助対象となってから、中学校敷地に中学校と施設一体型で新築する。	意見として参考にさせていただきます。

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
38	<p>計画が遅れても十分な説明と理解を得て進めるべき 多方面の方々に、上記考えを示すと異論はなかった。上記案の整備費等を精査し、原案と経費比較し、教育効果等の差異も整理しながら、住民への十分な説明と理解を得ながら進めることが大切かと思えます。</p> <p>将来を担う児童生徒の教育環境を整備向上させる為には、色々な課題があり難しいことと思えます。しかし、将来様々な批判にも胸を張って話せるよう、変更する勇気を持ちながら、分かりやすく十分な資料を提示しながら、住民の理解を得て進めれば、遠回りの様でも、目指す教育達成の近道かもしれません。賢明なご判断をお願いいたします。</p>	<p>今後も住民の方へ丁寧な周知、説明をさせていただきます。</p>
39	<p>教育目標の具体化、数値設定を 施設整備基本コンセプトとして、耳障りの良い言葉が並んでいますが、これまでは取り組んでこなかったのでしょうか。具体的にこれまではできなかった事、できた事の検証を示し、これから新しく行う事を具体的に目標数値も示して、目指す教育環境の実現への担保を図って欲しい。また、あまり重要ではない現状確認等の資料等が多く分厚く見る気を失うが、資料編として整理し、重要な事が分かりやすい計画書として配慮してほしい。新しく行うべきと思う事を各コンセプト毎に具体的に例示しました。 （例については割愛）</p> <p>施設整備計画に載せるものではないかもしれませんが。次期教育振興計画策定等で生かされればと思えます。</p>	<p>次期教育振興計画策定に向けて参考にさせていただきます。</p>
40	<p>協議経過の公表を このパブリックコメントは、町報1月15日号で既に7日から実施している事を知りました。分厚い計画案を見てコメントを書くには期間が短いように思います。異論がないからコメントが少ないと誤解しないでください。町議会だよりを見ても町民はよく見えています。いらぬ邪推が生まれぬよう配慮ください。</p> <p>学校整備委員会でこのパブリックコメントが協議されるのであれば、公表される議事録で経過と結果を確認します。教育委員会で協議する場合、隣の市のように議事録等を公表してください。情報の公開・透明性の確保は、学校づくりのみならず、町づくりの基本で大切な事と考えます。</p> <p>この私のパブリックコメントは、一個人のコメントとして、だれかに頼んでSNSにアップして、みんなに見てもらおうかと思っています。</p>	<p>今回のパブリックコメントについては、町報では1月15日号に掲載となりましたが、1月7日から町のホームページで公表し、2月6日までの約1か月間、各施設等で募集を行っております。また、学校整備委員会では、基本構想・基本計画（案）の策定までの議論をお願いしたもので、パブリックコメントについて協議する予定はありません。事務局で精査し、教育委員会議において報告し、会議録についてはホームページで公表いたします。</p>

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
41	<p>設置形態として義務教育学校、小中一貫型小学校・中学校、それぞれに施設一体型、施設隣接型、施設分散型が有るとの事で色々調べてみたがなかなか腑に落ちません。元教員の方の意見を求めたところ、「組織、制度をどんなにいじっても何も変わらない。子どもにとっては、”教員の愛情と情熱”の中で9年間、過ごすことが大事なこと」と言われ、基本は昔と変わらない、組織体制より教員の情熱と資質の問題と納得しました。</p>	<p>意見として参考にさせていただきます。</p>
42	<p>財政負担（将来世代負担）に関する説明不足 概要版では概算事業費が約54.5億円とされています。 一方、説明会資料（抜粋）では、庁舎整備等の既存債務との関係や、返済時期を踏まえた負担平準化の考え方が示されています。しかし、町民が判断する上で必要な情報（実質負担、金利・物価上昇、他事業への影響等）が十分に公開されていません。 要望 ①54.5億円の積算内訳（校舎・外構・解体・仮設・用地・設計監理・物価上昇見込み等）を公開してください。 ②国費・交付税措置・起債種別を含めた「町の実質負担額」と、返済計画（公債費見直し）を、前提条件付きで明示してください。 ③物価上昇・金利上昇を織り込んだ「上振れシナリオ」の再試算を提示してください（近年の建設費動向を踏めると必要です）。 ④本計画により制約を受けうる他の公共サービス・投資（道路、上下水道、福祉等）への影響を明示してください。</p>	<p>①P104の概算事業費にあるとおり、校舎等整備工事47億円、校庭整備工事3.9億円、設計、管理委託3億円、その他0.6億円となっております。 ②学校整備だけでなく、他の事業における国費・交付税措置・起債もあり、全体の返済計画等については、毎年度策定される財政計画で示してまいります。 ③物価や金利上昇の予測が困難であり、現時点での試算は難しいと考えます。今後、基本設計、実施設計と進む中で、事業費について判断してまいります。 ④様々な事業が求められていますが、優先順位をつけ、健全な財政運営に努めます。</p>
43	<p>「新築」中心の方向性に対し、代替案比較が不足 計画（案）は、学校統合・新校舎整備を主要な方向として示しています。しかし、既存校舎（例：谷地南部小学校、谷地中部小学校等）の改修・活用、機能分担、段階的統合など、低コストで同等の教育環境改善を目指す代替案との比較が十分ではありません。 要望 ①新築（統合）案と、既存校舎改修活用案について、建設費だけでなく維持更新費を含むライフサイクルコスト（LCC）で比較し、前提条件とともに提示してください。 ②新築以外の手法（モジュール化、段階整備、賃貸・リース方式等）も含め、選定過程を比較表で示してください。</p>	<p>河北町立小学校の整備に向けた基本方針において、町内の小学校をひとつに統合し、新たな校舎を整備することとしています。これに基づいて、新築について検討を進めております。既存校舎の活用は考えておりません。</p>

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
44	<p>通学・安全・運用コストの具体化が不足 計画（案）では候補地評価の観点として「通学」「安全性」等が示されています。 しかし、学区ごとの通学距離・時間、冬季の運行条件、スクールバスのルート・台数・運航費、危険箇所対策など、実務的な運用計画が十分に具体化されていません。通学手段の変更は恒常費（運航費・人件費）を伴うため、初期費用と同等に重要です。</p> <p>要望</p> <p>①学区別の通学距離・所要時間の比較（現状→計画後）を提示してください。 ②スクールバスの運行計画（台数、ルート、運行頻度、年間運行費、待機場所、安全管理体制）を試算付きで提示してください。 ③危険箇所の抽出と対策（歩道整備、横断誘導、除雪計画等）を具体化してください。</p>	<p>スクールバス等の通学につきましては、今後設置予定の開校準備委員会（仮称）等において、より具体的に検討してまいります。</p>
45	<p>中学校老朽化対応の優先順位が合理的に説明されていない 計画（案）では、中学校整備は令和23年度開校を目安とし、それまで既存中学校を改修しながら使用する規定が示されています。中学校の老朽化が顕著であるなら、なぜ大規模投資の順序として中学校が後回しになるのか、教育環境・安全・費用の観点で合理性の説明が必要です。</p> <p>要望</p> <p>①中学校施設の現状（耐力度調査、修繕履歴、今後必要な改修の内容と費用、リスク）を公開してください。 ②令和23年度までの「安全確保と教育環境維持」を満たすための改修計画と費用を示し、小学校先行整備との優先順位の合理性を説明してください。</p>	<p>中学校の修繕改修について、令和8年度中の調査を予定しております。それに基づいて、修繕計画を検討してまいります。</p>
46	<p>敷地選定の透明性（他候補地を含む比較）が不足 計画（案）は「5つの視点」で総合評価した結果として、河北中学校敷地を建設地としたとしています。一方で、他候補地（例：河北病院跡地、既存小学校の段階的再活用等）について、検討の有無、比較の結果、除外理由が町民に分かる形で示されていません。大規模な公共投資では、意思決定のプロセスの透明性が重要です。</p> <p>要望</p> <p>①全候補地について、評価指標・点数化（または定性評価）・前提条件を同一形式で開示してください。 ②河北病院跡地等の検討状況（検討した／していない、していない場合の理由）を明示してください。 ③既存小学校を段階的に縮小していく案もあると思います。検討状況を明示してください。</p>	<p>敷地選定においては、敷地の候補地カルテに基づいて評価し、検討をしております。 河北病院敷地においては、候補地として選定する段階で、県所有であること、建物の解体等について不明であることから検討対象から除外しております。 既存小学校を段階的に縮小していくことは想定しておりません。</p>

「河北町立小中学校整備基本構想・基本計画（案）」に対する意見について

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
47	<p>配置計画（校舎方位・グラウンド配置等）も妥当性説明が不足 概要版の配置図は「イメージ」とされていますが、計画段階での最低限の計画原則（採光、風雪、導線、安全、騒音、近隣影響）と複数案比較が示されないと、町民は合理性を評価できません。</p> <p>要望 ①配置計画の評価軸と複数案を示し、なぜその案が妥当かを説明してください。</p>	<p>配置計画のイメージ図は、あくまで整備方法検討の際のイメージ図となります。実際の配置は、今後の設計の段階で検討し、決定していきます。</p>
48	<p>将来の児童生徒数減少への適合（段階整備・縮小可能性） 計画（案）は少子化・児童生徒数の減少見込みを前提としています。 その前提に対し、固定規模の新築投資は将来の過大施設化リスクを伴います。縮小局面の運営と費用を事前に織り込む必要があります。</p> <p>要望 ①児童生徒数が想定を下回った場合の縮小運営（教室数・機能集約・未利用空間転用等）と費用影響を示してください。 ②需要変動に対応できる段階整備（フェーズ分け）案を、財政・教育・運用の三面で比較してください。</p>	<p>小学校は令和13年度開校時の児童生徒数を見込んで整備を想定しています。 また、令和23年度の中学校開校に向けては、設計の際に児童生徒数を再度検証し、適正な規模での整備を想定しています。</p>
49	<p>住民意見募集の設計（周知・情報公開）の改善 町の要綱では、案の公表と周知に努めること、意見提出期間は「おおむね2週間」とされています。今回の募集期間自体は形式的に満たしている可能性はありますが、約54.5億円規模の公共投資に対して、意思決定に必要な情報（候補地比較、通学計画、実質負担）が十分に出揃っていない状態での募集は、住民合意形成の観点で不十分と考えます。</p> <p>要望 上記の主要情報（財政試算、候補地比較、通学計画）を公開した上で、追加説明会・Q&A公表・意見募集（必要なら再募集）を実施してください。</p>	<p>今回のパブリックコメントについては、町報では1月15日号に掲載となりましたが、1月7日から町のホームページで公表し、2月6日までの約1か月間、各施設等で募集を行っております。</p>
50	<p>教育環境の改善自体に異論はありません。しかし、本計画（案）は財政・代替案比較・通学費用・敷地選定・段階整備の観点で、住民が合理的に判断するための情報が不足していると考えます。 上記の点が改善され、複数案の比較と透明性のある説明が尽くされない限り、本計画（案）には賛同できません。</p>	<p>意見として参考にさせていただきます。 今後も住民の方へ丁寧な周知、説明をさせていただきます。</p>